

平成25年

季刊

夏季号

Vol.47

亞東



平成二十五年・社会見学会 JAXA H-IIロケット広場にて



一般社団法人亜東親善協会

The East Asian Friendship Association

一般社団法人亜東親善協会の概要

名称 一般社団法人亜東親善協会

(英文名 The East Asian Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七―五 砂防会館四階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに我が国とアジア諸国との

経済、文化の提携、交流を通じ、友好親善の増進を図る。

事業

- ① 我が国とアジア地域諸国との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版
- ② 我が国とアジア地域諸国との文化、芸術の相互の紹介
- ③ 我が国とアジア地域諸国との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋
- ④ 我が国に在住するアジア地域諸国民の生活相談
- ⑤ アジア地域諸国からの在日留学生にたいする進学の斡旋
- ⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

亜東親善協会の変遷

社団法人亜東親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年 東京に設立された『華南俱樂部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉二郎先生(衆議院議員)は、俱樂部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら發起人となり同年五月二十九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の際のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二十一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇二二年、会長にお迎えしていた自由民主党総裁安倍晋三衆議院議員が内閣総理大臣に就任され、代表理事及び会長の職務を辞されました。

後任に会長代行・大江康弘参議院議員の代表理事が承認され、一般社団法人移行に伴い、二〇二三年 第一回通常総会に於いて代表理事・会長に就任されました。現在、領土問題等の紛争、北朝鮮の核問題、発展に伴う水・エネルギー環境問題なども山積しております。

アジアの繁栄と平和に貢献するために、本協会会員一同、役員陣容を強化し、新会長のもと、叡智を結集し努力を続けております。

季刊「亜東」平成二十五年 秋季号・目次

一般社団法人亜東親善協会・概要・変遷

目次・協会役員名簿

寄稿 副会長 山本 順三 参議院議員

寄稿 顧問 松下新平 参議院議員

寄稿 顧問 中田 宏 衆議院議員

國立中興大學・日本企業考察団

台北駐日經濟文化代表處・各分處新任者

平成二十五年年度社会見学会

平成二十五年年度訪台団・東京媽祖廟

お知らせ 編集後記

二頁 三頁 四頁 六頁 八頁 十頁 十二頁 十三頁 十八頁 十九頁



社団法人亜東親善協会顧問 (順不同・敬称略)

沈 斯 淳 今井 正 根井 洌 毛 友 次 林 錦 清
小田村四郎 黄 清 林 林 瑞 祥 長尾 孝則 施 梨 鵬
鄭 尊 仁 李 純 京 羅王 明珠 謝 文 政

社団法人亜東親善協会役員

名 誉 会 長 玉澤徳一郎
会 長 ・ 代 表 理 事 大江 康弘
副 会 長 ・ 理 事 山本 順三 張 建 國 張 碧 華 千葉 健司
専 務 理 事 崎谷 秀彦
業 務 執 行 理 事 赤松 則宏 南部 晴彦 益山 茂 並木 正芳
理 事 小松 省二 橋本 靖男 仲谷 俊郎 李ハロルド
松永理恵子 多 忠和 三浦 信行 伊野 雅晴
柴田 徳文
監 事 莊司 隆一 藤山 雅康
支 部 長 青森県・大見光男 岩手県・高橋義麿
茨城県・石川多聞 広島県・月村俊雄

寄稿

一般社団法人亜東親善協会副会長

自由民主党幹事長代理

参議院議員 山本順三先生



展のために精力的に取り組んでいるところですよ。

本年一月には岸田文雄外務大臣が、我が国にとって台湾は重要なパートナーと言明されましたが、日台関係は今後益々重要になってくるものと確信しております。

我が国にとって、台湾は世界第五位の貿易相手国であり、台湾にとっても、我が国は世界第二位の貿易相手国です。

我が国と台湾とは、地理的な近さのみならず、自由、民主主義、基本的な人権といった基本的価値観を共有する友好的な隣国として、これまで近しく交流してきました。

私も亜東親善協会の一員として活動し、昨年五月からは副会長として、日台関係の更なる発

期待しております。

また、近隣の友好国である台湾とは人的交流も盛んです。私も何度か訪台し、本年一〇月の国慶双十節式典にも日華議員懇談会の一員として出席する予定でおりますが、今年の短期訪問者数が両国ともに過去最高を記録するなど、双方で緊密な人的交流が更に広がってきております。

その背景に良好な国民感情があります。我が国にとって最も忘れられない出来事が、東日本大震災の際の、台湾の皆様のお心遣いのおかげです。

「震災発生時、台湾は世界のどの国よりも多額の二〇〇億円を超える義援金を贈ってくれた大切な日本の友人」と安倍総理

自らフェイスブックに書かれたように、台湾の皆様からの友情あふれる心からの支援に対し、被災地をはじめ私たち日本国民は、非常に強く勇気づけられたものです。

多方面にわたる多大な支援に対し、改めて心からの感謝を申し上げます。

一方、日台間には課題が存在することも事実です。特に、馬英九総統による尖閣諸島の領有権に関する言及は、我が国の立場とは相容れるものではありません。

そのような中、日台漁業協定を締結したことは、日台間にとって極めて重要な意味をもちます。

連日、我が国の領海を侵犯している中国公船への対応に苦慮する日本にとって、友好関係にある台湾との関係強化は非常に重要な視点です。

さらに近年、文化交流も様々な形で広がっております。本年四月には宝塚歌劇団初の台湾公演が行われ、大成功を収めました。

来年には台北の故宫博物院の秘蔵展が東京及び九州で公開予定となっており、こちらの成功も祈念するところでです。文化交流の進展により、日台間の友好関係が草の根まで広がることを期待しております。

また、私の地元、愛媛県と台湾との繋がりも深まってきております。愛媛県では、松山市の

松山空港と台北市の松山空港との間に「松山から松山へ」をキヤッチフレーズとしたチャーター便の運航を目指してきましたが、一〇月一日、一四日に運航が決まりました。

これを契機に、「松山・松山」便が将来的に定期的な運航へと繋がること、そして愛媛と台湾との関係が益々深まることを祈念するところでです。

そして、スポーツを通じた民間交流も始まっております。愛媛・今治と広島・尾道を結ぶしまなみ海道は、日本初の海峡を横断する自転車道が併設され、「サイクリングの聖地」とも言われております。

昨年五月の「日台交流・瀬戸

内しまなみ海道サイクリング」の際には台湾の世界的自転車メーカー、ジャイアント社の劉金標会長が訪日され、しまなみ海道をサイクリングされました。

本年一〇月の「サイクリングしまなみ 二〇一三」にもジャイアント社には協力頂き、サイクリングというスポーツを通じた交流も進んでいております。

我が国周辺地域には様々な課題がありますが、日本と台湾が共に手を携えていけるパートナーであることが、この地域の安定と発展には欠かすことのできないものであると確信しております。日台両国の関係が益々安定し緊密になることを切望し、微力ながら私も力を尽くしたいと思っております。



中華民国 國立中興大學
日本企業考察團 国会議員懇談
会及び国会見学会

平成二五年九月一七日 火曜日

日台のさらなる友好関係に、
国土交通省政務官として

一般社団法人亜東親善協会顧問
前国土交通大臣政務官

自由民主党政策調査会副会長
参議院議員 松下新平先生



伝統ある一般社団法人亜東親善協会の会長に、敬愛する大江康弘先生がご就任されましたことを改めてお祝い申し上げます。

大江康弘先生は、これまで、私も含めて多くの台湾にシンパシーを持つ仲間を勢力的につくり広げられて来られました。

日台間でギクシヤクした時も自ら体を張って調整され、我々を導いて来られました。その功績は誠に大きく、この度の会長ご就任は最も適任と敬意と感謝を申し上げる次第です。又、亜東協会歴代役員の方々並びに会員の皆様の日頃から日台友好関係にそれぞれのお立場でご尽力いただいております事にも敬意と感謝を申し上げます。

さて、私は、九月三〇日まで第二次安倍内閣の国土交通大臣政務官として執務しております。この場をお借りして、この間のご厚情に感謝申し上げますと共に、国土交通大臣政務官として執務しました日台の現状と課題について、最も主要な航空局、観光庁、鉄道局から概要を報告、紹介させていただきます。

まず、航空局では、現在、日

本側の就航状況は、週二二便（旅客一〇五便、貨物一六便）です。航空会社は、日本航空が旅客五六便。全日空が旅客二便、貨物一四便。ピーチエアージェンが旅客二二便。エアアジアジャパンが旅客七便。日本貨物航空が貨物二便就航しています。

外国側の就航状況は、週二五四便（旅客三三九便、貨物一五便）です。航空会社は、中華航空が旅客三二二便、貨物一〇便。長榮航空が旅客七四便、貨物五便。華信航空が旅客六便。復興航空が旅客二七便就航しています。

信航空。石垣⇌台北（華信航空）。成田⇌台北（復興航空）が新規就航しています。

台北松山空港と東京羽田空港を結ぶシャトル便の就航から三年が経とうとしておりますが、これは日台間の日帰りも可能にし、両国の一層の連携を加速させていることを大変嬉しく思います。

次に、観光局では、本年度、更なる相互交流の促進に向け「日台観光サミット三重宣言」に合意しました。

今年度は、那覇⇌台北（ピーチエアージェン）。成田⇌台北（エアアジアジャパン）。高松⇌台北（中華航空）。岡山⇌台北（長榮航空）。旭川⇌台北（長榮航空）。那覇⇌台中（華信航空）。日台観光推進協議会（会長 西田厚聰 事務局）（公社）日本観光振興協会、（一社）日本旅行業協会は、二〇一三「日台観光サミット 三重」を五月三十一日に三重県志摩市の合歓の郷ホテル&リゾートにおいて開催し、

台湾側の主催団体「台日観光推進協議会」と二〇一六年までに日本と台湾の相互交流人口四〇〇万人の実現を目指すことを軸とした「台日観光サミット三重宣言」に合意しました。

「日台観光サミット」は、台湾からの訪日旅行・日本からの訪台旅行双方の促進を目的とし、相互交流人口三〇〇万人の実現を目標として、平成二〇(二〇〇八)年に日台双方の旅行業界の経営者や観光業界のトップが集い、第一回の会議を台湾の台北市で開催しました。

その後、静岡県、南投県(台湾)、石川県、花蓮県(台湾)で開催され、今回の三重県が六回目の開催となりました。

次回は来年台湾の屏東(へいとう)県で開催される予定です。

今回の会議では、昨年過去最高の二九〇万人(台湾↓日本約一四七万人、日本↓台湾約一四三万人)を記録した相互交流人口を更に発展させていくための諸施策について議論を行いました。

最後に鉄道局では、台湾高速鉄道 南港〜台北間延伸設備新設工事についてです。

台湾高速鉄道は、平成一九年に台北〜左営(高雄)間の約三四五kmを開業し、同区間を最短九六分で結ぶ高速鉄道です。

我が国の新幹線システムが輸出され、あわせて開業にあたり運営や保守に係る技術協力を行い、現在も順調に運行を続けています。

さらに、平成二五年六月二四

日には、日本の民間企業が、台湾高速鉄道股份有限公司(台湾高鉄)、台湾高速鉄道の事業主体から、台湾高速鉄道の延伸区間(南港〜台北間・約九、二km)のうち、未着工区間(約五、〇km)に関する軌道、電車線、信号、通信、運行管理システム等の設計、供給、据付を行う工事を受注しました。

受注額は約二〇〇億円となっています。日本の技術力を高く評価してくださり、又日本側からも技術力の貢献出来まます事を大変嬉しく思います。

私は、自民党政策調査会副会長に就任しました。参議院議員としての活動も一〇年目を迎えております。これまでの感謝の気持ちを大切に、真の日台友好関係に尚一層尽力して参る所存です。

今後ともさらなる日台友好関係の安定と繁栄と関係強化のために、亜東親善協会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



平成二五年五月一五日 水曜日

一般社団法人亜東親善協会総会

山本 順三 参議院議員

松下 新平 参議院議員

寄稿

一般社団法人亜東親善協会顧問
日本維新の会

国会対策委員長代理

衆議院議員 中田 宏先生



日本人はあまりにも台湾のことを知らなすぎると感じる感じがしばしばある。

一八九五年、日清戦争で勝利した日本は一九四五年の敗戦までの五〇年間、清から割譲された台湾を統治していた。

一八九八年から台湾開発にあたった後藤新平について、李登輝元台湾総統は著書「最高指導者の条件」(PHP研究所)の中でこう書いている

「後藤新平の強力なリーダーシップによって行われた台湾開発は、八年七カ月という短い期間で完成できたと思えないほどスケールの大きなものだった。
(中略) その後における台湾の経営・開発は、すべて後藤新平の敷いたレールの上を走ったといっても過言ではないだろう」

また、日本ではあまり知られていないが、台湾で毎年慰霊祭が行われている一人の日本人がいる。八田與一(よいち)という水利技術者である。

桐川県で生まれた八田は、東

京帝国大学工学部土木科を卒業後、台湾総督府に就職した。

千ばつにさらされていた嘉南平野で田畑に水を供給するためダム建設に奔走した。

このダム―烏山頭ダム建設のために、家族とともに現地に住んで陣頭指揮にあたり、十年の歳月をかけて完成させた。

このダムにより、嘉南平野は肥沃な土地となった。

昨年の五月八日、没後七〇周年の慰霊祭に私も参加してきたが、その際には三十代の台湾人の女性が「八田さんのおかげで美味しいお米が食べられます」と日本人である私に感謝の気持ちを伝えてくれた。

日本の台湾統治が正しかった

と言うつもりはない。

当時の時代背景がそうだったにせよ、別の民族が他の民族を支配することは誤りだ。

だが、そこを理解したうえで、実は多くの台湾人が、かつて台湾が日本であった結果、現在の発展につながっていることに感謝してくれているということも知っておくべきだ。

そして、間違いないのは現在、台湾は非常に親日的な国だということだ。東日本大震災で、台湾からの義援金が二〇〇億円超も集まったことは記憶に新しい。これは総額においても国民一人当たりにおいても、世界で一番だった。

その台湾について、中国は自

国の一部であると主張している。「一つの中国」という論だ。中国は将来の統一をにらみ、二〇一四年秋に北京で開くAPEC（アジア太平洋経済協力会議）に台湾の馬英九総統を招請するとの報道もある。

台湾を国として承認しているのは世界中に二三カ国しかないが、現実には事実上の国家として機能している。

その証左に、空港に着けば台湾（中華民国）のパスポートコントロール（出入国管理）があり、独自の通貨である台湾元を発行し、民主的な選挙により総統（大統領）と立法委員（国会議員）を選出していることなどが挙げられる。

日本国民としては、日本と台

湾、そして中国と台湾の関係として、少なくともこのくらいのこと誰かが知っておくべきことだと思う。

中国の主張である「一つの中
国」論に異議を唱えるつもりはない。中国と台湾が民主的手続きにより合意すれば、日本はそれを承認するだろう。

ただし、武力行使による解決を日本は容認できない。武力行使によって人権が蹂躪（じゅうりん）されたり、戦争という事態になれば国際社会は介入しなければならぬし、最近隣国である日本はその先頭に立つべきだ。

日本最西端の与那国島（よなぐにじま）から台湾まではわずか一〇キロメートルであり、日本と台湾は東シナ海を共有す

る運命共同体である。

我が国の安全保障上の観点から見ても、最重要視しなければならない関心事であることは明らかだ。

政治家としては、国会議員はもとより、地方の首長や議員も国民の生命と財産を守るために、日本の自衛と国際社会での安全保障の構築を自らの本義と心得なければならない。

国家観がなければ、戦略的な決断をすることができないのだ。そうした全体像、すなわち国家観を持っていれば私たちが台湾との交流を深めることが重要であるとかわかってもらえるはずだ。

中国とも韓国とも、そして台湾とも、常にその関係を発展させる必要がある。

平成二五年五月一日（水）
一般社団法人亜東親善協会総会



協会名誉会長 玉澤徳一郎先生
顧問 衆議院議員 橋本英教先生
顧問 衆議院議員 中田 宏先生

国立中興大學・日本企業考察團
国会見学会及び国会議員懇談会

平成二五年九月一七日 火曜日

台北駐日經濟文化代表處教育組
より本年(前同二〇一二年来日)
九月一六日に、中華民國台中市
國立中興大學・經營管理學修士
Master of Business Administration
課程で学ぶ社会人学生と、情報

部大学院二年生、三二名が会計
学科の林宜勉教授に引率され、
日本の代表的企業の体制運営と
グローバル戦略を学習する為、
来日致します。併せて国会議員
を表敬訪問し、国会議事堂・国
会等を見学するとともに意見交
換したいとの依頼が有りました。

弊協会事業として、本年二月に
も、中華民國中國國民黨僑務委
員會主催の大學青年學生の訪問
団を受入れ、我が国とアジア地

域諸国との經濟文化の提携・交
流を通じ、友好親善を促進する
目的の懇談会を開催致しました。

日本企業考察団一行は、午前
中に、商社視察を行い、一二時
三〇分 参議院議員会館に到着。
館内の会議室において、国会弁
当の昼食を摂りながら国会議員
と懇談会を行ない、現在の台日
関係についての理解を深めた。



東京大学に留学している蘇懿
禎さんの通訳により懇談会が進
められ、親善協会副会長 山本
順三・参議院議員、中川雅治・
参議院議員、西田実仁・参議院
議員、三名の国会議員。公益財
団法人交流協会・小松道彦・総
務部長、華僑界からは「日本華
商總會」の林三統・副理事長、
協会より張建國副会長、元衆議
院議員・並木正芳業務執行理
事・益山茂業務執行理事、藤山
雅康監事らが出席した。
崎谷秀彦・専務理事の司会。
親善協会を代表し張建國副会長
が歓迎の挨拶を述べた。

中川雅治議員は、義父(原文
兵衛元参議院議員)が参議院議
長の要職のまま第二代協会会長
に就任されたこと、西田実仁議
員は中国語で挨拶され、いずれ
も、日台関係の今後におけるよ
り一層の重要性を指摘し、双方

のさらなる良好な関係構築と交
流の深化、双方の国のさらなる
発展を図るよう努力していく所
存である旨を表明された。

愛媛県松山市が地元の山本順
三議員(親善協会・副会長)は、
東日本大震災に際し、台湾から
の多大なる支援に感謝の意を表
すと共に、日台間の地方都市交
流が進展していることに言及し、
「今年一〇月一日から愛媛の
松山空港と台北の松山空港間で
直行便(チャーター便)が運航
する。私は一〇月一〇日の双十
国慶節に台湾を訪問し、翌二一
日に台北・松山空港からの第一
便で愛媛の松山空港に帰る予定
である」と紹介された。

交流協会の小松道彦・総務部
長は、「台日間は心と心の特別な
絆が結ばれている。我々はこの
基礎を大切に育てているが、こ

れからは皆さんのような青年が中心になって育てていってほしい。それには、日本の政治、経済、社会、歴史を正しく理解していただくことが、今後の日台関係を強固なものにしていくことである」と述べられた。

台北駐日経済文化代表處教育組の王鴻鳴・秘書は、「台日両国の国民は互いに親近感と信頼感を抱いており、人々の交流が益々緊密となっている。今回、一行の訪問を通して台日間の相互理解を深めると同時に、日本の良い所をたくさん学び、青年大使として両国の協力関係に貢献し、活躍するよう期待している」と挨拶された。

中華民國台中市國立中興大學日本企業考察團團長・林宜勳教授は、「このような訪問を通して、台日間の交流を深めたい。みな

日本が好きなので、このような交流が多くなるよう期待している」と述べた。



懇談会では質疑応答も行なわれ、和やかな中で行われた。一行は懇談会の後、国会議事堂の見学を行ない、初めて見る議事堂の衛視の説明を熱心に聞き入った。訪問団のメンバーの一人は、「貴重な機会であり、興味深い活動に参加でき嬉しい」と感想を語った。

一行は来日期間中、日本の大手企業や日本に進出している台湾の大手企業などを訪問するほか、駐日代表処への訪問、早稲田大学で学生間の交流訪問も予定している。



懇談会・国会見学会には、山本順三事務所、協会顧問・参議院議員松下新平事務所、協会会長大江康弘事務所のご協力戴き誠に有難う御座いました。

協会では十一月に中華民國留日東京同學會（東京地区で学ぶ台湾からの留学生の組織）との国会見学会並びに国会議員懇談会を開催致します。



台北駐日經濟文化代表處

徐 瑞湖 副代表



學歷
一九五二年生まれ

台北師範專科學校卒業
淡江大學日本語學科卒業
淡江大學日本研究所修士

經歷

一九七三年 台北市小学校教師
八六年 外交部入り亞東關係協會
九〇年 台北駐日經濟文化代表處
書記官
九五年 亞東關係協會秘書科長
〇〇年 台北駐日經濟文化代表處
業務部次長
〇六年 外交部日本事務會諮問委員・専門委員
〇八年 亞東關係協會副秘書長
〇九年 台北駐日經濟文化代表處
札幌分處處長
二〇一三年八月一三日 着任

台北駐大阪經濟文化辦事處

蔡 明耀 大阪處處長



學歷
一九五三年生まれ

淡江大學東方語文文學科卒業
經歷
一九八〇年 外交部入り
八四年 在マラウイ中華民国大使館書記官

九一年 外交部勤務
九三年 亞東關係協會橫浜辦事處處長
九四年 駐フィリピン代表處副部長
九七年 中琉文化經濟協會駐沖繩代表
九九年 外交部勤務
〇〇年 台北駐日經濟文化代表處
僑務部長・業務部長
〇七年 外交部日本事務會副執行長
〇八年 外交部日本事務會執行長
〇八年 亞東關係協會秘書長
〇九年 在スロジランド中華民國大使館特命全權大使
二〇一三年九月一日 着任

台北駐福岡經濟文化辦事處

戎 義俊 福岡處處長



學歷
一九五三年生まれ

輔仁大學日本語科卒業
平成国際大学法学部修士
經歷
一九七九年 財政部入り
八六年 外交部アジア局事務官
八九年 亞東關係協會駐日代表處書記官
九四年 亞東關係協會本部資料組長
九八年 外交部専門委員兼總統日本語通訳

〇一年 台北駐日經濟文化代表處
總務部次長
〇四年 台北駐日經濟文化代表處
領事部部長
〇八年 外交部組長回部辦事
一〇年 總統府國家安全會議主任
研究員
一二年 台北駐日經濟文化代表處顧問
二〇一三年三月三十一日 着任

台北駐日經濟文化代表處札幌分處

陳 桎宏 札幌處處長



學歷
一九五三年生まれ

淡江大學卒業
関西大学大学院社会学修士
經歷
一九八四年 外交部入り
八五年 日本研修
八七年 亞東關係協會薦任主事
九一年 亞東關係協會東京辦事處書記官
九三年 台北駐日經濟文化代表處
總務課長

九八年 外交部領事事務局科長
九九年 外交部領事事務局ITセンター長
〇一年 台北駐大阪經濟文化辦事處
領事部部長
〇四年 中琉文化經濟協會駐沖繩代表
〇七年 外交部領事事務局勤務
〇九年 外交部南部辦事處副處長
一二年 外交部領事事務局南部辦事處主任
二〇一三年八月一三日 着任

平成二五年度社会見学会
平成二五年九月二五日 水曜日
集合 国会議事堂参議院面会所

团长・並木正芳業務執行理事
始め・理事・会員・家族・会友
事務局 十八名が参加。

昨年は、独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)、我が国における海洋科学技術の総合的な研究開発機関として、海洋に冠する基盤的研究開発、学術研究に関する協力等の業務を総合的に行っています。

電源開発株式会社(J・P・O W E R) 全国的な電力不足を克服する為、昭和二十七年「電源開発促進法」が成立。これに基づいて設立され、日本全国に所有する発電所を運営し各地域の電力会社に電気を供給する電気事業を主力としています。

二社を視察致しました。

又、本年の一般社団法人亜東親善協会第一回総会には(JAMSTEC)理事長平朝彦先生に「ちきゅう」と地下生命圏研究イノベーションについての演題でご講演を戴きました。

今年は、八月打ち上げ予定のイプシロンロケットについての問い合わせが有り、

宇宙航空研究開発機構

(Japan Aerospace Exploration Agency)：以下JAXA

JAXA筑波宇宙センターを視察することになりました。

小雨交じりの天気でした。国会議事堂参議院面会所前を、定刻八時半に出発。高速道路利用で、JAXAへ、桜土浦インターで降り、約一〇分、定刻一〇時に筑波宇宙センター到着。

JAXA筑波宇宙センター

所長 宮地 雄二様

総務部総務課長 松山卓靖様
のお出迎え、広情報棟・記者会見室で、宮地所長の挨拶*筑波宇宙センター紹介ビデオ*概要説明が有りました。



平方米の敷地に、研究学園都市にふさわしい緑ゆたかな環境と最新の試験設備を備えた総合的な事業所です。

宇宙輸送ミッション本部

宇宙利用ミッション本部

有人宇宙環境利用ミッション本部
研究開発本部

宇宙科学研究本部(一部)の五つの本部で構成されています。

JAXAの推進する活動のうち、

●「きぼう」日本実験棟を用いた宇宙環境利用や、宇宙飛行士養成と活動推進
画像の解析

●「きぼう」日本実験棟を用いた宇宙環境利用や、宇宙飛行士養成と活動推進

日本の宇宙開発をリードする筑波宇宙センターは筑波研究学園都市の一面にあり、一九七二年に開設されました。約五三万

●ロケット・輸送システムの開発と、技術基盤確立のための技術研究の推進を行っており、日本の宇宙開発の中枢センターとしての役割を果たしています。

次に展示館・スペースドームへ。
入口に一〇〇万分の一スケールの地球が展示され、右手には、宇宙科学研究・月惑星探査コーナーでは、小惑星イトカワを調査した「はやぶさ」(MUSES C)のモデルが展示。



月周回衛星「かくや」(SELENE)により月面上の「地球の出」ハイビジョンビデオを放映



隣は、歴代ロケット模型の展示。イプシロンロケット・惑星分光観測衛星 (SPRINT-A) 重さ約三五〇kgを搭載された。プロジェクトマネージャーは

森田泰広JAXA教授。

名称は、日本の固体燃料ロケットの名前は、カップバ(K), ラムダ(L)、ミュー(M)、と代々

アルファベットにギリシャ文字の読みを当てており、イプシロン(E)は、探査(Exploration)

や進化(Evolution)の頭文字と、「いい」という言葉の響きから。

鹿児島県大隅半島・内之浦宇宙空間観測所で、二〇一三年八月打ち上げ予定が延期され九月一日四日打ち上げに成功しました。



M・Vロケットの後継機(次期固体ロケット)として、イプシロンは、全長二四、四m、重さ九一トでH2Aロケットの半分位の大きさ。

段目と三段目には世界最高性能と謳われたM・Vロケットの上段モーターを改良して用いています。

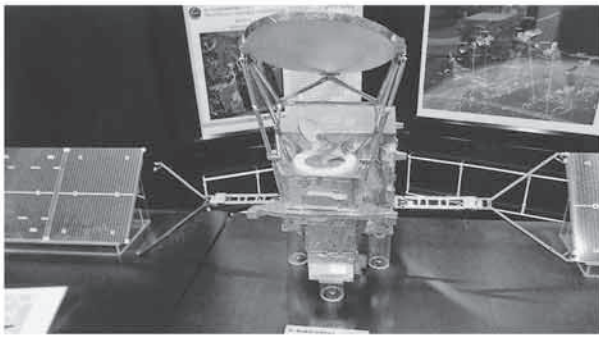
高性能と低コストの両立を目指す新時代の固体燃料ロケット。一段目には、HA-IIAロケット用補助ブースターを活用、二

人工知能の技術が導入され、搭載機器の点検をロケット自身が自律的に行い、打ち上げ準備は世界最短短か一週間で終わる。先代のM5は、世界最大級の固体ロケットで高い性能を誇ったが、打ち上げ費用は、約七五億円という高額費用等が批判された。イプシロンロケットは、M5のほぼ半分、約三八億円。

地球環境変動観測ミッション（GCOM）は、大気や海、陸地、氷や雪等一〇年以上かけて、地球環境を観測しています。

第一期水循環変動観測衛星

「しずく」（GCOM-W1）は、高性能マイクロ波放射計を搭載。海面水温や降水量、水蒸気量、土壌水分量など、地球規模の水環境を観測しています。



国際宇宙ステーション（ISS）高度四〇〇kmの地球周回軌道上に建設された多目的有人施設。二〇〇九年七月、日本の有人実験施設「きぼう」日本実験棟が完成。



センターには、実物大モデルや宇宙ステーション補給機「こうのとり」（HTV）の試験モデルが展示されていました。

「きぼう」船内実験室（長さ一一、二m。直径四、四mの大きさ）船内内部気圧は一気圧。

展示館視察後、「ロケット広場」へ。約一〇年の歳月をかけて開発された純国産のH-IIロケットト全長約五〇mもある実機が展示してあります。

団長 並木正芳・業務執行理事



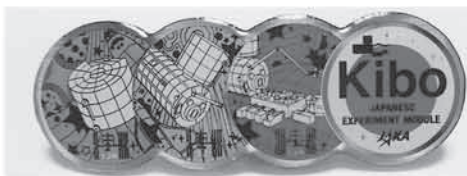
構内バス移動で、日本実験棟「きぼう」（JEM）運用管制室へ二四時間二六五日、「きぼう」はフライトディレクターと運用管制員からなる五〇名以上のチームが三交代二四時間体制で運用。

「きぼう」に搭載されている実

験装置の状態監視、制御コマンドの送信やリアルタイムでの運用計画の管理を行っています。
*VIPルームからの視察でしたが、写真撮影禁止区域につきカメラ・携帯電話は持込み禁止。

昼食は厚生棟にて、JAXA職員と一緒。カフェテリア方式で各々好みの食事を戴きました。食堂隣接のセブンイレブンは、国内一、小さい店舗との事。

プラネットキューブでは、宇宙に関する企画展が行っており、ミュージアムショップには、JAXAや宇宙に関連したグッズの販売をしています。



ペン製
台湾製
ボールペン
の台湾製
のボールペン
の台湾製



す 様 の 筋 売

宇宙食やステーションナリーが有りました

帽子・バッグ・コップ・チョコ
クッキー・宇宙日本食カレー他
レトルト食品・歴代ロケットプ
ラモデル・フィギア等々、皆さ
さん お土産を購入されてました。



宇宙日本食レトルトカレー

SPACE CURRY



JAXA展示館・日本実験棟の
案内説明された筑波宇宙センタ
ー管理部特任担当役舟木政信様
誠に丁寧で、なお且つ判り易い
説明有難う御座いました。

定刻一三時 筑波宇宙センター
を出発。本日二件目の視察先
茨城県守谷市・アサヒビール茨
城工場に向かいました。

当日は、多くの見学者が予約
しているの、見学開始時間が
一四時からとなりました。

茨城支店アサヒビール茨城工場
見学案内担当統括マネージャー
渡部宏信衛生検査技師がお迎え。
見学棟周辺の池や緑の観覧予定
でしたが、雨のため館内ギフト
ショップ等で時間調整。

一階フリーフィンクルームで、
ビール製造課程・パッキング・
出荷発送。環境ビジョンの取組。
会社創業からのあゆみ。全国工
場紹介等、映像による説明が終
わると、スクリーンが上がり
窓ガラス越しに玄関前池・庭園
風景が現れました。



工場内は撮影禁止。製造工程へ
ビールの主な原料は、麦芽、
ホップ・水の三種類。

麦は、二条大麦・粒が大きく、
でんぷん質が多く、たんぱく質
が適度で、皮が薄いという特徴
がある。

ホップは、北海道で生産され
独特の香りと苦みを与え、ビー
ルをクリアにし、雑菌の繁殖を
抑え、泡立ち 泡持ちを良くする。

水は、無色透明、無味無臭で、ミネラルの質と量がビールの味覚に大きく影響するので、工場内の良質な水が使われている。

酒税法で定められている副原料は、米、コーン・スターチなど。

ビールの味を調整し、すっきりした味にするのに役立つ。

大麦に水と空気を与え、発芽させ、その後乾燥させ成長を止め、脱根し、麦芽にします。

麦芽を試食しましたが、香ばしく美味しいものであります。

仕込工程…お湯に麦芽と副原料を加え煮る。さらに仕込み釜で煮たものを加え、液中のでんぷん質が麦芽糖に変わります。

発酵熟成工程…麦汁にホップを加えビール特有の芳香と苦みを生まれさせる。約一週間で若ビールが吹き、更に数十日間じっくり熟成させる。



ろ過工程を経て生ビールが誕生
*官能検査・毎日アサヒビールでは出来上ったビールを専門の担当者が試飲して、おいしいビールを出荷している。
パッケージング工程を経て茨城工場で生産された製品は、神奈川県を除き、関東一円に出荷される。

最上階展望室で出来たてビールの試飲。二〇分間一人二杯まで。



おつまみが少なく、持ち込みは禁止。もう一杯飲みたかった。団員全員はチョッピリ良い気分一階正面で、記念撮影。

出発までギフトショップでお土産を購入。ビールチョコレート樽入りアサヒ・ビールケーキアサヒ黒生ビールゴーフレット



一六時 アサヒビール茨城工場出発。新宿へ、朝が早かった為か、皆さんバスの中では御休み

打上げは、李ハロルド協会理事のお店「東京大飯店」で開催。中華民国・宇宙センター訪問を今年の協会訪台団で視察をとの話がありました。

文責：南部晴彦

2013年11月8日・金曜日～10日・日曜日

一般社団法人亜東親善協会【多謝】訪台団

11月8日	東京 台北 新竹 台北	羽田空港発 7:20 中華航空(CI-223) 松山機場着 10:15 立法院:表敬訪問 國家実験研究院國家太空中心:視察 外交部・亜東關係協會:懇親会 台北國賓大飯店 泊
11月9日	台北 宜蘭 台北	ホテル発 宜蘭縣礁溪郷へ 宜蘭縣礁溪郷公所・林錫池郷長:表敬訪問 * 櫻木・目錄贈呈 ・礁溪郷観光産業發展所・洪文言所長:表敬訪問 ・湯仔城温泉産業暨觀光發展協會 蕭錫鑫理事長:訪問 宜蘭縣礁溪郷關係者:懇親会 宜蘭縣礁溪郷:視察後 台北市内へ 亜東親善協会:夕食会(金品茶樓) 台北國賓大飯店 泊
11月10日	台北	ホテル発 台北市内視察・猫空 他 忠烈祠(献花)・(猫空茶館・龍門客棧) 午後 市内視察・免税品店・お茶老舗等 松山機場着 松山機場発 18:15 中華航空(CI-222) 羽田空港着 21:55

親善交流を目的に毎年実施している台湾訪問の旅昨年、玉澤徳一郎名誉会長を団長とする「ありがとう台湾:謝謝台湾」訪問団は、高雄市・台北市を訪問し、東日本大震災に際し台湾国民からの他大なるご支援に対し、謝意を伝えて参りました。本年も【多謝台湾】としての宜蘭縣礁溪郷訪問です6月 南紀白浜温泉と礁溪温泉間で姉妹提携調印式が、当協会大江会長の立会いのもと調印されました後援事業として、礁溪郷に櫻木の贈呈を致します。*社会見学会はJAXAを予定していますので、台湾の宇宙センター見学をしてはと理事会の提案があり視察先としました。恒例の立法院・亜東關係協會を表敬訪問致します。

催行日時 11月8日から10日まで 2泊3日
催行員数 10名より
参加費 108,000.- 2人一部屋
21,000.- 1人一部屋追加料金
宿泊:台北 國賓大飯店 886-2-2551-1111
台北市中山北路二段63號

現地旅行社:大通旅行社 02-2752-5299 担当 MS.金
台北市忠孝東路四段132號 龍門大廈8F

協会事務局 Tel 03-3261-6405 Fax 03-3556-5770

東京媽祖廟・落慶開廟

(東京都新宿区・大久保駅前)

平成二五年一〇月一三日

媽祖さまは、航海・漁業の守護神として、台湾では特に篤く信仰されている道教の「海を守る女神」です。

安座式典には、東京媽祖廟・詹德薫董事長、駐日代表處・沈斯淳閣下始め大使館關係者、前駐日代表・馮寄台大使、僑務委員會・陳士魁委員長、華僑界幹部等が出席し、落成を祝うテープカットが行われた。開光の儀式、上香の儀式が行われ、媽祖様が鎮座された。

沈大使は、「媽祖様は、台湾の重要な信仰の一つであり、東京に媽祖廟が創建され、僑民の拠点となる、喜ばしい」

詹董事長は、「建てるまでは大変な苦労があった。大久保には沢山の台湾人が住んでおり、この廟をふれあいの場となる事を望み、前の路を、媽祖廟通りとしたい」と述べた。



帝国ホテル

東京媽祖廟安座開光慶祝晩會
留日華僑が、大結集され、

詹董事長、陳士魁委員長、日華懇・平沼赳夫会長等の挨拶。乾杯は、聯合總會・毛友次會長。中國書道會・張炳焯會長の揮毫が、抽選で出席者に贈られた。

お知らせ

○本年は中華民國一〇二年に当り雙十國慶祝宴が開催されました。

十月三日 横濱華各界慶祝中華民國建國一〇二年國慶酒會・施梨鵬會長

十月六日 ローズホテル横濱・〇四五(六八一)三三一 一八時より
中華民國一〇二年建國記念日二〇一三台湾フェスタ・中華民
國留日東京華僑總會・李維祥會長。中華民國留日東京同學會
共同主催。東京中華學校・九時三五分國旗掲揚式。開会式後

十月八日 台北駐日經濟文化代表處・「中華民國建國一〇二年雙十國慶
祝賀レセプション」が、ホテルオークラ「平安の間」で開催
交流協会、政界関係者、日台友好関連団体、留日華僑団体等
が出席され、沈大使は、三月にWBC、四月に宝塚歌劇団の
台湾初公演等により、民間交流が深まったことを強調された
また、来年「國立故宮博物院」特別展が東京と九州で開催さ
れる事に触れ、日台交流に重要な意義を持つと述べられた

○ 中華民國留學生・協會顧問国会議員懇談会開催(十一月)

中華民國留日東京同學會(台湾留學生)の国会議事堂見学。国会議員との
懇談及び昼食会を参議院議員会館で開催致します。当日は、台北駐日
經濟文化代表處、公益財団法人交流協会、留日台湾メディア、中華民
國留日華僑団体、弊親善協会役員が出席致します。

編集後記 季刊「亜東」平成二十五年 秋季号

○皆さまのご寄稿が少なくなっております。台湾・協会に関する、歴史
体験記録 旅行記 提言等 お待ち致しております。一頁・一三〇〇文字
二頁二六〇〇文字。写真も掲載可能です。締切日は十二月十三日(金)
メールにて事務局まで E-mail atousinzen@nifty.com
○協会活性化の為、会員の拡充を図っています。会員各位のご紹介を、
宜しく願ひ申上げます。ご入会お待ちしております。

【年会費】①法人五万円以上。②賛助会員三万円。③個人一万円。

表題【亜東】は中華民國總統馬英九閣下の御揮毫です

季刊 **亜東** (アジアの架け橋) 平成25年 秋季号 (No.47)
発行日 : 平成25年10月15日
発行所 : 一般社団法人亜東親善協会
編集 : 南部晴彦 業務執行理事
所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階
Tel:03-3261-6405 Fax:03-3556-5770
H P : atousinzen@nifty.com
印刷 : ヨシダ印刷株式会社

台湾の魅力を、あなたにも。 チャイナ エアライン



チャイナ エアラインで、台湾の旅へ。

台北101や日月潭、阿里山など、見どころにあふれた台湾。
日本から飛ぶなら、チャイナ エアラインで。行き届いたサービス、快適なひととき…。
台湾を訪れるあなたを、心を込めたおもてなしで歓迎いたします。